

A 会場

気象予報

座長： 近藤 圭一（気象研究所）

A151	近藤 圭一（気象研）	背景誤差の非ガウス分布を考慮したアンサンブル同化手法
A152	藤田 匡（気象研）	変分法によるレーダーデータ同化高度化の検討
A153	藤田 匡（気象研）	ひまわり後継衛星ハイパースペクトル赤外サウンダのメソ数値予報 OSSE
A154	石橋 俊之（気象研）	4次元の背景誤差共分散行列を使った 4D-Var によるアンサンブル生成と決定論的解析（4）
A155	小槻 峻司（理研計算科学）	低解像度全球大気モデルを用いた局所粒子フィルタ実験
A156	小槻 峻司（理研計算科学）	全球大気・水文結合データ同化システムの開発と土壌水分データ同化実験
A157	菊地 亮太（DoerResearch）	メソアンサンブル予報とフライトデータを用いた風況場ナウキャストの検討

座長： 藤田 匡（気象研究所）

A158	小林 ちあき（気象研）	結合同化システムの短期再解析実験における降水量と SST、海面フラックスとの関係
A159	小野 耕介（気象研）	混合ガウス分布の最頻値を利用した地上気温予測
A160	榎本 剛（京大防災研）	球面螺旋節点を用いた 2次元セミ・ラグランジュ移流スキーム
A161	鈴木 健斗（東北大院理）	関東地方に発生する沿岸前線の MSM 予報バイアスに関する解析（2）
A162	渡邊 武志（電中研）	気象予測モデルから得られる地上風速の精度評価の持続性
A163	門倉 真二（電中研）	風力発電出力予測の高度化－欠測対応と急変化検出－
A164	宇野 史睦（産総研）	盆地における気象庁 MSM・LFM の日射量予測誤差の比較

B 会場

気候システム I

座長：鈴木 和良 (JAMSTEC)

- | | | |
|------|------------------|---|
| B151 | 堀 雅裕 (JAXA/EORC) | 衛星光学センサの熱赤外域バンドデータを用いた北極河川の表面水温推定 |
| B152 | 鈴木 和良 (JAMSTEC) | 全球大気陸面結合データ同化システム (MLEF-GWRF)の開発 |
| B153 | 川合 秀明 (気象研) | MRI-ESM2 の雲表現の改良における様々な苦勞 |
| B154 | 行本 誠史 (気象研) | 20 世紀における半球規模の気温トレンド変化の要因 |
| B155 | 當房 豊 (極地研) | 黄砂飛来時における東京スカイツリーでの氷晶核の観測：2017 年 5 月の事例 |
| B156 | 塩竈 秀夫 (国環研) | 過去と将来の温暖化による熱帯アジア森林火災と火災由来 CO ₂ ・エアロゾル排出への影響 |
| B157 | 大垣内 るみ (JAMSTEC) | 地球システムモデルを用いた古気候再現実験による気候モデルの評価 |

座長：新藤 永樹 (気象研究所)

- | | | |
|------|-----------------|---|
| B158 | 青木 輝夫 (極地研) | 気温上昇に伴う積雪粒径の増加と近赤外アルベド低下効果の普遍性 |
| B159 | 新藤 永樹 (気象研) | 気象研究所地球システムモデルへの JPL Eddy-Diffusivity / Mass-Flux and Shallow Convection Scheme の導入 |
| B160 | 河本 和明 (長大環境) | ダスト消散係数と氷晶活性の関係 |
| B161 | 小玉 知央 (JAMSTEC) | 全球非静力学モデル NICAM における温帯低気圧の水平解像度依存性 |
| B162 | 保坂 征宏 (気象研) | MRI-ESM2 による過去再現・将来予測計算結果の理解に向けて |
| B163 | 神代 剛 (JMBSC) | 新しい統合的推定指標で理解される亜熱帯海洋下層雲フィードバック |
| B164 | 佐藤 尚毅 (学芸大) | 気候シナリオのストーリーライン構築のための積雪のモデル計算 |

C 会場

中層大気

座長： 山崎 孝治（北海道大学地球環境科学研究所）

- C151 山崎 孝治（北大地球環境） 対流圏を通じた成層圏 QBO の冬季極渦への影響
- C152 星 一平（新潟大） 北極-中緯度気候リンクの QBO 位相依存性とメカニズムの一考察
- C153 直江 寛明（気象研） QBOi 実験における Holton-Tan メカニズムの温暖化応答
- C154 原田 やよい（MRI） 成層圏準 2 年周期振動と北半球夏季季節内振動との関係
- C155 樫村 博基（神戸大理） 乾燥大気理想化実験における QBO 的周期振動のモデル依存性（続報）
- C156 松山 裕矢（九大院理） 成層圏におけるプラネタリー波束の下方伝播の統計解析(II)
- C157 松下 優樹（東大院理） 新たな 3 次元残差流を用いた成層圏子午面循環構造の気候学的解析

座長： 原田 やよい（気象研究所）

- C158 平野 創一郎（東大院理） 南半球における最終昇温の年々変動とその対流圏との関係
- C159 劉 光宇（九大院・理） 南極域におけるオゾン全量変動と力学場の関係について
- C160 高麗 正史（東大院理） 北極域の Lapse-Rate Tropopause 高度の季節サイクル
- C161 佐藤 薫（東大院理） Brewer-Dobson 循環のクライマトロジーと重力波の役割
- C162 奥井 晴香（東大院理） 高解像度大気大循環モデルを用いた冬季高緯度中層大気重力波の研究
- C163 野口 峻佑（JAMSTEC） 重力波解像全大気モデルによる成層圏界面上昇イベントの予測実験
- C164 小新 大（東大院理） 中層大気データの同化におけるフィルタリング

D 会場

大気境界層

座長：阿保 真（首都大学東京システムデザイン研究科）

D151	中田 潔（一般）	「逃げ水・浮き島・蜃気楼」現象の定量的統一的解析
D152	佐藤 真樹（埋没林博物館）	魚津の上位蜃気楼観測時における UAV による大気温度観測
D153	菅原 広史（防大）	植生の表面温度形成要因に関する検討
D154	重田 祥範（環境学部）	都市キャノピー層内における温熱環境の形成と土地被覆形態の関係性—複雑地形を有する熊本市街地を対象として—
D155	多田 楽空（鳥取環境大）	鳥取県沿岸部における強風吹走時の時空間的変動
D156	矢野 雄大（立正大・院）	立正大学・熊谷キャンパスのドップラーライダー観測によるストリーク構造の環境場調査
D157	阿保 真（首都大）	ライダーによる大気境界層高度推定法の比較
D158	北村 祐二（気象研）	MYNN モデルにおける接地境界層での特徴的長さの検討
D159	竹見 哲也（京大防災研）	市街地における暴風リスクの評価：2018 年台風 21 号を想定した京都市街地での風速変動の LES
D160	丹治 星河（北大院理）	格子ボルツマン法による吹きだまり形成のシミュレーションと防雪柵による吹きだまり分布の違い

大気放射

座長：工藤 玲（気象研究所）

D161	岩渕 弘信（東北大院理）	三次元大気放射伝達モデルと深層学習を用いた地上からの雲のリモートセンシング手法の開発
D162	工藤 玲（気象研）	不均質に分布した雲の地上リモートセンシング手法の開発
D163	林 昌宏（気象研）	ひまわり 8 号可視・赤外観測を利用した多層雲域の雲物理量推定と巻雲除去画像の作成
D164	桃井 裕広（千葉大）	スカイラジオメータと MAX-DOAS の複合観測による対流圏下部の PM2.5 濃度のリモートセンシング観測
D165	山口 航大（千葉大）	スカイラジオメータを用いた日本におけるエアロゾルの光吸収オンゲストローム指数の変動要因の解析

A 会場

専門分科会2「藤田哲也生誕100年ーわが国における竜巻研究ー」

座長： 佐々 浩司（高知大理工）

A201	小林 文明（防大地球）	わが国における竜巻観測のいま
A202	橋本 昭雄（藤田記念会）	藤田哲也博士記念会の活動紹介
A203	野田 稔（高知大）	藤田哲也博士が遺した研究資料のデジタルアーカイブ化
A204	Henderson Jennifer （Colorado Univ.）	Dr. Tetsuya Fujita: A Biographical Presentation
A205	鈴木 真一（防災科研）	2017年7月4日にドップラーライダーで観測された竜巻状の渦とそれをもたらした積乱雲のKaバンドレーダー及びXバンドMPレーダーによる観測その2
A206	藤部 文昭（首都大・都市環境）	1903年9月23日の東京淀橋小学校の竜巻災害
A207	江口 譲（電中研）	フジタの竜巻風速場モデルを用いた気圧分布解析
A208	岩下 久人（明星電気）	地上稠密気象観測網による竜巻・ダウンバーストの観測

座長： 横山 辰夫（福岡管区气象台）

A209	佐々 浩司（高知大理工）	高知における竜巻のレーダー観測
------	--------------	-----------------

B 会場

気候システムⅡ

座長： 隈 健一（東大先端技術研）

B201	田村 健太（北大院環境科学）	日本海北東部における小低気圧の発生に対する Sikhote-Alin 山脈の効果
B202	渡邊 俊一（JMBSC）	大気海洋結合地域気候モデルの開発
B203	隈 健一（東大先端研）	日本域領域再解析の推進に向けて
B204	西井 和晃（三重大生物資源）	2018年7月の豪雨と猛暑への海面水温偏差の寄与
B205	加藤 内藏進（岡山大・教育・理科）	2018年7月西日本豪雨の広域降水特性と大気場に関する気候学的視点も交えた解析（その2）
B206	高畠 大地（北大院理）	夏季の北海道における多湿環境の地球温暖化変化
B207	若月 泰孝（茨城大理）	領域気候ハイブリッドダウンスケーリングシステムの開発
B208	松本 健吾（岡山大・院）	中国～東西日本における梅雨期の日々の降水変動・季節進行や総観場に関する気候学的解析（第2報）
B209	三宅 千尋（岡山大・教育・理科）	冬をはさむ季節進行の中でみたドイツ付近の日々の気温変動に関連した総観気候学的解析（東アジアとの比較の視点から）
B210	桑名 佑典（岡山大・院）	ヨーロッパにおける低気圧活動の季節サイクルと θ_e でみる日々の安定度の変動（2000年を例に）

C 会場

中高緯度大気

座長：庭野 匡思（気象研究所）

C201	本田 明治（新潟大理）	2018年1月11-12日の新潟市の大雪にかかわる日本海上の高気圧性循環
C202	門前 由喜子（学芸大）	日本海と太平洋を通過する爆弾低気圧の前線構造の違い
C203	築地原 匠（鹿児島地方気象台）	大規模アンサンブルデータ d4PDF における数十年規模の爆弾低気圧活動
C204	栃本 英伍（東大大気海洋研）	日本付近で発達する温帯低気圧の構造と環境場のジェットの関係
C205	入江 健太（東京学芸大・院・教育）	寒冷渦が台風の温帯低気圧化に与える影響
C206	春日 悟（新大院）	寒冷渦・トラフを連続的に補足する新客観的強度指標の提唱
C207	平沢 尚彦（極地研）	総観規模擾乱に伴う南極氷床上の降水形成機構
C208	立花 義裕（三重大）	負の北極振動と中緯度寒波の新因「北極海アラスカ沖に空いた海氷の巨大な穴(warm hole)」
C209	庭野 匡思（気象研）	グリーンランド氷床表面融解に対する雲の影響
C210	中山 盛雄（東大先端研）	南半球ストームトラック活動の卓越変動 ～移動性擾乱と準停滞性擾乱の役割～

D 会場

熱帯大気 I

座長： 清木 亜矢子（海洋研究開発機構）

D201	末松 環（東大 AORI）	Modulation of MJO characteristics by the fluctuation of the large-scale zonal circulation
D202	清木 亜矢子（JAMSTEC）	フィリピン海における積雲対流活動を介した北半球夏季季節内変動と PJ パターンとの関係
D203	福富 慶樹（名大 ISEE）	インド洋上の総観規模波動の力学と中緯度-熱帯相互作用
D204	伍 培明（JAMSTEC）	赤道波によるスマトラ島西岸 2016 年 3 月の記録的豪雨
D205	斉藤 和雄（気象業務支援センター）	ベトナム気象局解析雨量と 2018 年 12 月ベトナム中部の豪雨について (2)
D206	森 修一（JAMSTEC）	スマトラ南西沿岸陸域における対流日変化と雷活動：YMC 集中観測より
D207	耿 驪（JAMSTEC）	2015 年にスマトラ島沖で観測された熱帯擾乱と降水の多重スケール構造の解析
D208	横井 覚（JAMSTEC）	スマトラ島西岸沖における海上気象要素変動の観測的研究
D209	奥川 棕介（富山大院理）	スマトラ島西岸における沿岸降水帯に関する数値実験
D210	茂木 耕作 （JAMSTEC/DCOP）	Pre-YMC と YMC 期間中のスマトラ西方沖縁辺海における表層沿岸流変動

B 会場

専門分科会4「気象災害と防災啓発活動について」

座長：栗原 めぐみ（日本気象予報士会）

B301	中山 秀晃（予報士会）	関東地方における降雪分布－WebGIS を活用した雨雪判別と積雪深の記録－
B302	多々良 秀世（WFT/CAMJ）	土砂災害から守る学習プログラム・ワークショップ
B303	伊藤 忠（予報士会東海支部）	どんな予兆に注意すればヨット転覆事故は防げたか 2017年4月29日の急な強風の事例について
B304	太田 佳似（予報士会）	スマホアプリを用いた防災意識の向上
B305	宮島 亜希子（防災科研）	リアルタイム気象情報を活用した屋外スポーツ大会等の安全運営支援 ～つくばマラソンにおける実証実験～
B306	大竹 秀明（産総研）	太陽光発電に関わる諸課題と対応
B307	寺井 邦久（島原高校（気象予報士会西部支部））	気象情報を学校運営に活かす

C 会場

観測手法

座長：萩原 雄一郎（宇宙航空研究開発機構）

C301	重田 祥範（鳥取環境大）	係留気球と GPS ラジオゾンデによる気温・相対湿度の観測 ー下層大気内における計測値の品質評価ー
C302	野津 雅人（首都大）	下部境界層の気温・相対湿度・風鉛直分布の UAV・係留気球・パイロットバルーン観測間比較
C303	岩井 宏徳（NICT）	地上設置型ドップラーライダーとラジオゾンデを用いた衛星搭載ドップラー風ライダーの検証実験
C304	萩原 雄一郎（JAXA）	NICAM/Joint-Simulator 出力を利用した EarthCARE/CPR ドップラ速度誤差の評価（その2）
C305	大野 裕一（NICT）	WINDAS 鉛直速度観測を用いた高層雲の解析(3)
C306	中島 孝（東海大）	しきさい衛星 SGLI 雲プロダクトの初期検証結果
C307	青梨 和正（気象研）	次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーバルアルゴリズム開発：固体降水の厚みに依る散乱特性の変動の導入
C308	民田 晴也（名大宇地研）	降雪粒子立体形状とミリ波偏波レーダシグナル
C309	佐藤 晋介（NICT）	フェーズドアレイ気象レーダーのリアルタイム観測データ利用システム

D 会場

環境気象

座長：板橋 秀一（電力中央研究所）

D301	太田 佳似（予報士会）	HYSPLIT を用いた迷行鳥類の気象要因解析
D302	Damiani Alessandro （CEReS/Chiba U）	Connection between Antarctic ozone and climate: interannual precipitation changes in South America
D303	板橋 秀一（電中研）	北半球スケールの硫酸エアロゾルに対する人為および火山起源排出量の影響評価
D304	大橋 唯太（岡山理大・生物地球）	年による気候の違いが急性循環器疾患の増減に与える影響
D305	藤部 文昭（首都大・都市環境）	熱中症による日々の救急搬送率と気象要素との関係
D306	山本 晴彦（山口大）	帝国日本における気象観測ネットワークの構築ー中央気象台1ー
D307	村上 英世（いいエコ）	地球平均温度低下を狙った人工気象モデルの検討

A 会場

専門分科会1「水蒸気観測技術の進展と豪雨予測への貢献」

座長：永井 智広（気象研究所）

- A351 小司 禎教（気象研） E-S 風系型首都圏短時間強雨への下層水蒸気の寄与
－2017年8月19日の事例－
- A352 川村 誠治（NICT） 地デジ放送波を用いた水蒸気量推定手法の研究開発
－首都圏観測展開の加速－
- A353 金丸 佳矢（NICT） 地デジ放送波から推定された水蒸気量リアルタイム観測のデ
ータ解析
- A354 佐藤 英一（気象研） 気象レーダー位相による屈折率の推定について（第2報）

座長：小司 禎教（気象研究所）

- A355 星野 俊介（高層台） 2018年9月18日に東京都で観測された大雨の事例解析
- A356 足立 透（気象研） PAWR・水蒸気観測を用いた首都圏における積乱雲の盛衰の
解析－2018年8月27日の事例－
- A357 酒井 哲（気象研） 水蒸気ライダーとドップラーライダーによる海風の観測
－2017年8月19日の局地的大雨事例－

座長：瀬古 弘（気象研究所）

- A358 吉田 智（気象研） 水蒸気ライダーによる水蒸気鉛直分布の観測とデータ同化
- A359 加藤 亮平（防災科研） 局地的大雨予測に対する雲レーダー同化インパクト：水蒸気
ナッジングデータ同化実験
- A360 廣川 康隆（気象研） 線状降水帯事例の検出と出現分布の特徴

座長：清水 慎吾（防災科学技術研究所）

- A361 清野 直子（気象研） 線状降水帯発生環境の気象庁メソ解析によるコンポジット解
析
- A362 牛山 朋来（土研
ICHARM） 船舶搭載 GPS PWV の同化インパクト実験その2
- A363 小司 禎教（気象研） 船舶搭載 GNSS による東シナ海水蒸気観測実験

B 会場

専門分科会 5 「人工知能 (AI) は気象学にブレイクスルーをもたらすか？」

座長：松岡 大祐 (JAMSTEC)

B351	三好 建正 (理研)	気象学における AI 活用から AI 統合へ
B352	大塚 成徳 (理研計算科学)	深層学習による三次元降水ナウキャスト手法の検討
B353	広瀬 民志 (千葉大 CEReS)	ひまわり 8 号降雨推定アルゴリズムを用いた熱帯アジアモンスーン域の降雨の解析
B354	原口 大輝 (JMA)	機械学習を用いた降水ナウキャストの可能性に関する研究
B355	鈴木 香寿恵 (法政大理工)	CNN を用いた南極域における降雪時の雲パターン検出
B356	松岡 大祐 (JAMSTEC)	深層畳み込みニューラルネットワークを用いた停滞前線の自動抽出と精度検証
B357	雨宮 新 (理研計算科学)	機械学習によるモデルバイアス補正：Lorenz96 モデル実験
B358	澤田 洋平 (東大院工)	データ駆動型アプローチが加速する地球科学シミュレーションの不確実性定量化
B359	伊藤 純至 (東大 AORI)	瞬時的な地表面フラックスを診断する接地境界層パラメタリゼーションの深層学習による検討

座長：筆保 弘徳 (横浜国立大)

B360	黒良 峻平 (和歌山大)	ニューラルネットワークを用いた急発達台風予報
B361	比嘉 舞輝 (琉大 理工学研究科)	私たちは CNN に正しい答えを教えているのだろうか ～t-SNE による正解ラベルの妥当性の検証～
B362	大西 領 (JAMSTEC)	超解像シミュレーションによる街区微気象のリアルタイム予測 ～物理を学習させた深層・超解像器～
B363	杉山 大祐 (JAMSTEC)	深層学習によるカメラ画像からの気象情報の抽出
B364	堀田 大介 (気象研)	変分自己符号化器による前処理を通じた非ガウス観測のデータ同化
B365	大滝 寿一 (横浜国大)	深層学習を用いた回転水槽実験の波数解析
B366	中川 友進 (JAMSTEC)	大規模アンサンブル気候データの効率的な解析に向けたコンテンツベース検索システム

C 会場

専門分科会 3 「雲・降水粒子研究の現状と発展」

座長：橋本 明弘（気象研究所）

C351	本吉 弘岐（防災科研・雪氷）	長岡における地上での降雪結晶の連続観測
C352	山口 悟（防災科研・雪氷）	新雪の比表面積の測定
C353	石元 裕史（気象研）	積雪マイクロ CT データを用いた降雪粒子のモデル化とレーダー反射特性の計算
C354	更科 孟（富山大院・理工）	富山における積雪深増加時の気象場・降水粒子特性に関する研究
C355	勝山 祐太（北大院理）	混合確率分布の粒径・落下速度分布への適用
C356	瀬藤 丈晴（名大 ISEE）	2018年8月13日に名古屋大学の X バンド偏波レーダーで観測された東海地方の雷雲

座長：佐藤 陽祐（北海道大学理学研究院）

C357	勝俣 昌己（JAMSTEC）	研究船「みらい」で観測された海洋上の雨滴粒径分布のモデル化の試みと、その降雨特性による差異
C358	清木 達也（JAMSTEC）	GPM-DPR を用いた雹のレーダー散乱特性の抽出
C359	折笠 成宏（気象研）	UAE 上空におけるエアロゾル・雲の直接観測（その1）
C360	村上 正隆（宇地研）	ダブルモーメント雲微物理パラメタリゼーションにおけるCCN 活性化スキーム
C361	吉住 蓉子（名大 ISEE）	簡易型吸湿性シーディングスキームを導入した雲解像モデル CReSS によるシーディング実験
C362	道端 拓朗（九大応力研）	降水予報型 MIROC におけるエアロゾル・雲・降水相互作用プロセスの誤差補償の緩和

D 会場

専門分科会 6「複数手法による大気中メタン動態の把握と予測」

座長：齋藤 尚子（千葉大）

- D351 犬伏 和之（千葉大園芸） 土壌から大気へのメタンの発生メカニズム
- D352 森本 真司（東北大・院理） 南北両極域における大気中メタン濃度とその同位体比の変動
- D353 遠嶋 康徳（環境計測研究センター） 「みらい」北極海航海の観測結果の解析：
東シベリア大陸棚（ESAS）からのメタン放出の検証
- D354 林田 佐智子（奈良女大理） 北インドにおけるメタン発生と輸送：衛星観測と地上観測からの一考察

座長：羽島 知洋（JAMSTEC）

- D355 寺尾 有希夫（国環研） 南アジアにおけるメタン排出の起源別推定のための大気中メタン安定炭素同位体比観測
- D356 Cheewaphongphan Penwadee（地域環境研究センター） The 2019 Refinement emission estimation: CH₄ emission in Asia during last decades
- D357 伊藤 昭彦（国環研） ボトムアップ手法による東アジア地域メタン収支評価
- D358 梅澤 拓（国立環境研究所） 東アジアのメタン排出源のセクター別評価に向けて：波照間ステーションで観測される高濃度メタンイベントに伴うメタンの安定炭素同位体比と炭化水素の変動
- D359 Prabir Patra（JAMSTEC） Regional budgets of 3 major greenhouse gases – implications CH₄ emissions for the Paris Agreement

座長：梅澤 拓（国環研）

- D360 齋藤 尚子（千葉大環境リモセン） GOSAT メタン鉛直濃度分布データを用いたインド上空のメタン季節変動の解析
- D361 佐野 春香（千葉大学） MIROC4-ACTM により算出された東シベリア域のメタンカラム濃度の季節変動の再現性
- D362 齊藤 誠（地球環境研究センター） GOSAT 全球メタン吸収排出量プロダクト
- D363 丹羽 洋介（国環研） 全球 CH₄ 逆解析によるフラックス推定値の独立性評価
- D364 羽島 知洋（環境変動予測研究センター） 湿地メタン放出—気候フィードバック研究のための地球システムモデル開発

A 会場

降水システム I

座長： 諸田 雪江（国立研究開発法人情報通信研究機構／名古屋大学宇宙地球環境研究所）

A401	篠田 裕太（九大院）	JPCZ に伴う日本海沿岸の降水持続性に与える長白山系の力学効果
A402	荒木 健太郎（気象研）	南岸低気圧による首都圏降雪時の降雪結晶の特性と環境場の関係
A403	石坂 雅昭（防災科研 客員）	北陸平野部の大雪時の降雪粒子の特徴と雲物理過程
A404	梅原 章仁（気象研）	Cバンド二重偏波レーダーを用いた降水粒子判別手法の開発と評価
A405	林 修吾（気象研）	二重偏波レーダーによる降水粒子判別結果と雷活動の関係
A406	諸田 雪江（NICT / 名大 ISEE）	フェーズドアレイ気象レーダーで観測された孤立積乱雲内の降水コアと雷放電との時空間比較
A407	益子 渉（気象研）	2015年台風第15号の内部コア域の微細構造
A408	上田 有佑（立正大・院）	日本における台風に伴う竜巻発生環境場の特徴について
A409	加藤 輝之（気象大）	2019年5月26日の北海道東部での高温の要因について

B 会場

熱帯大気Ⅱ

座長：馬場 雄也(海洋研究開発機構)

B401	金田 幸恵 (名大 ISEE)	日本東海上を北上する台風の将来変化予測実験
B402	筆保 弘徳 (横浜国大)	大規模アンサンブルデータで得られた台風発生環境場パターンの将来変化
B403	片山 卓彦 (東京海上研究所)	大規模アンサンブル実験結果を用いた台風季節予報の可能性調査②
B404	Tauvale Luteru (名大 ISEE)	Characteristics of Tropical Cyclones in the Southwest Pacific
B405	新垣 優治 (高知地方気象台)	大西洋の海面水温が台風発生環境場に及ぼす影響
B406	石山 尊浩 (東大 AORI)	2018年7月における北大西洋の SST が北西太平洋の台風発生環境場に与える影響
B407	藤原 圭太 (九大院・理)	温低化に伴う Sandy(2012)の降水強化に及ぼすメキシコ湾流の影響
B408	柳瀬 亘 (気象研)	北西太平洋における亜熱帯低気圧の性質を持つ台風
B409	馬場 雄也 (JAMSTEC)	スペクトル型積雲対流スキームへの浅い対流クロージャの適用

C 会場

気候システムⅢ

座長：横山 千恵（東大大気海洋研）

C401	尾瀬 智昭（気象研）	CMIP5 モデルの夏季東アジア現在気候再現性と降水量将来変化（その2）
C402	村田 昭彦（気象研）	地域気候モデルによる予測結果から得られた日降水量の統計分布パラメーターの将来変化
C403	大沼 友貴彦（東大生研）	積雪ペースメーカー実験による気候への影響評価
C404	横山 千恵（東大大気海洋研）	GPM DPR 観測と CMIP5 気候モデル予測の複合利用による初夏日本付近の降水特性の将来変化推定：手法の妥当性について
C405	野沢 徹（岡大院自然）	気温上昇にともなう極端降水量の増加傾向の地域特性
C406	谷田貝 亜紀代（弘前大）	中央アジアの降水量定量評価と CMIP5 Multi-model superensemble による温暖化時の変化予測
C407	釜堀 弘隆（AORI）	様々な時間スケールのアメダス降水量の長期変動
C408	水田 亮（気象研）	極端降水将来変化の再現期間・時間スケールによる違い
C409	内山 常雄（予報士会）	ClimatView 月統計値ー北アメリカの月平均気温の調査

D 会場

大気力学

座長：水野 吉規（気象研究所）

D401	田中 博（筑波大 CCS）	球面座標系における亜熱帯ジェットの地衡風調節（解析解）
D402	板野 稔久（防衛大・地球海洋）	目のある浅水渦上の非軸対称擾乱の解析
D403	伊賀 啓太（東大大気海洋研）	円筒容器内の回転円盤上の流れの上を伝播する波の共鳴
D404	水野 吉規（気象研）	乱流境界層における大規模構造の運動量輸送への寄与の評価
D405	山崎 一哉（東大院理）	トランスバースラインの構造と成因の研究
D406	西 憲敬（福岡大理）	熱帯 ITCZ 中の大規模雲域の変形過程
D407	相木 秀則（名大宇地研）	熱帯太平洋の表層波動のライフサイクル解析：Level-0 表式の実装

A 会場

降水システムⅡ

座長：金田 幸恵（名古屋大学宇宙地球環境研究所）

A451	金子 航（東大大気海洋研）	太平洋地域の Atmospheric River と対流圏上層ジェットとの蛇行との関係
A452	辻 宏樹（東大大気海洋研）	2014年8月広島豪雨の解析で示された Atmospheric river と切離低気圧の相互作用に伴う降水強化の一般性
A453	二宮 洸三（無所属）	1982年7月に観測された梅雨・メイユ前線の雲・降水帯
A454	金田 幸恵（名大 ISEE）	水平解像度 2km の雲解像モデルによる 2019年九州豪雨の再現実験
A455	西井 章（高知大院理）	平成 30年7月豪雨期間中に高知で観測された線状降水帯の解析
A456	関 庚夕（名大 ISEE）	線状降水帯を構成する対流セルと降水量の関係性
A457	畔野 貴弘（京大院理）	3次元雲解像モデルによる放射対流平衡下における降水システムの自己組織化について

座長：大東 忠保（防災科学技術研究所）

A458	大東 忠保（防災科研）	複数の雲レーダーを用いた夏季積乱雲発達初期の高時間分解能観測
A459	小林 隆久（電中研）	GPM 搭載 2 周波レーダーを用いた対流性降水の融解層検出手法
A460	山地 萌果（JAXA/EORC）	GPM/DPR で得られた全球規模での雨滴粒径と降水特性の関係
A461	松嶋 俊樹（R-CCS）	超水滴法を用いた雄大積雲のラージ・エディ・シミュレーション
A462	郭 威鎮（MRI）	Droplet Size Distribution Activated and Grown from Hygroscopic Particles in CCNC
A463	田尻 拓也（気象研）	内部混合したサブミクロン粒子の吸湿度と雲粒生成

B 会場

熱帯大気Ⅲ

座長：辻野 智紀（北海道大学）

B451	山口 宗彦（気象研）	台風進路予報における予報円の作成手法の改善
B452	川端 康弘（気象研）	台風進路予報における予報楕円
B453	中川 雅之（気象研）	全球 7km 非静力学および 20km 静力学モデルによる台風進路予測誤差の要因の調査
B454	山口 宗彦（気象研）	T-PARCII のドロップゾンデ観測と気象庁全球予測システムを用いた台風 Trami(2018)を対象とする観測システム実験
B455	比嘉 未雅（琉大院・理）	NHM を用いた台風 Chanthu(2016)の進路予報大外し事例の研究
B456	嶋田 宇大（気象研）	台風第 21 号による記録的暴風と短時間強雨のメカニズム
B457	辻野 智紀（台湾大）	雲解像モデルで再現された台風 Haiyan (2013) における渦位の混合と急発達
B458	塚田 大河（北大院環境科学）	ひまわり 8 号を用いた台風内部コア領域の非軸対称構造の定量化
B459	福田 航平（富山大院）	大気追跡風を用いた台風の日周期の統計解析
B460	内木 詩歩（富山大院）	ひまわり 8 号高頻度観測から同定した熱帯海上の雲システムの日周期
B461	藤井 駿人（名大 ISEE）	Split window 法を用いた対流バーストの検出
B462	浜口 佑也（AORI）	対流圏上層のトラフ前面における TD 型擾乱の発生過程
B463	中村 雄飛（東大 AORI）	対流と結合した赤道 Kelvin 波・赤道 Rossby 波の構造と降水特性の統計解析
B464	小寺 邦彦（気象研全球）	赤道台風 Vamei に対する対流圏界面気温の役割

C 会場

気候システムIV

座長： 今田 由紀子（気象研究所）

- | | | |
|------|------------------|---|
| C451 | 竹村 和人（京大院理） | 夏季アジアジェットに沿った準定常ロスビー波束伝播と PJ パターンとの力学的関連性 |
| C452 | 安永 数明（富山大学） | 北陸における初冬季の降水量の増加と熱帯インド洋の降水 |
| C453 | 今田 由紀子（気象研） | 熱帯不安定波が大気大循環に与える影響 |
| C454 | 栗原 和夫（無所属） | エルニーニョ現象に関わる大気の 4.5 年周期変動 |
| C455 | 加藤 内藏進（岡大・教育・理科） | 歌から広がる学際的気候・文化理解教育と ESD（日本やドイツ、北欧の季節サイクルと季節感を接点に） |
| C456 | 内田 裕太（東大 先端研） | d4PDF におけるシルクロードパターンの温暖化に伴う変調 |
| C457 | 塩崎 公大（京大院理） | 冬季極東域における寒暖に対応する El Niño 発達過程 |

座長： 遠藤 洋和（気象研究所）

- | | | |
|------|----------------------|---------------------------------------|
| C458 | 遠藤 洋和（気象研） | 高解像度 MRI-AGCM による日本付近の夏季降水量の将来変化と不確実性 |
| C459 | 杉原 直樹（三重大院生物資源） | 南極振動が駆動するソマリジェットが及ぼす南北両半球間の遠隔影響 |
| C460 | 浅野 早紀（筑波大学生命環境科学研究科） | 対流圏上層における亜熱帯高気圧の季節変化～夏と冬の形成要因の差異～ |
| C461 | 相澤 拓郎（東大 AORI） | 地球システムモデルを用いた 20 世紀における北極域の気温変化と海水変動 |
| C462 | 長谷川 聡（東大 AORI） | 大気海洋結合が 2010 年 8 月猛暑の発生確率に与える影響 |
| C463 | 山上 遥航（東大 AORI） | 大気海洋結合モデルにおける海洋高解像度化の西インドモンスーンへの影響 |
| C464 | 門 大貴（東大先端研） | 夏季北西太平洋大気循環における ENSO 駆動成分の抽出 |

D 会場

惑星大気

座長：杉本 憲彦（慶応大学法学部）

- | | | |
|------|---------------|--|
| D451 | 山本 勝（九大応力研） | 季節変化および紫外線加熱が金星大気大循環に及ぼす影響について |
| D452 | 杉本 憲彦（慶大日吉物理） | 金星探査機 Venus Express の風速データを用いた熱潮汐波への同化インパクトの研究 |
| D453 | 高木 征弘（京産大理） | 大気大循環モデルを用いた金星雲分布の再現 |

物質循環

座長：中島 英彰（国立環境研究所）

- | | | |
|------|----------------------|--|
| D454 | 山口 小雪（奈良女大） | 那覇で観測された対流圏オゾンの増大現象について |
| D455 | 荻野 慎也（JAMSTEC） | 東南アジアにおける下部対流圏春季のオゾン増大現象：発生メカニズムと3次元構造 |
| D456 | 中島 英彰（環境研） | 陸別・昭和基地・つくばにおける CFCs/HCFCs の長期変動 |
| D457 | 蔡 穎（千葉大 リモセン） | 2011-2019年における春季の越境汚染に対する日本のエアロゾル光学的厚さの応答に関する観測的研究 |
| D458 | 竹村 俊彦（九大応力研） | 発生領域別複素屈折率データを用いたダスト放射強制力の見積もり |
| D459 | Cheng ChiuTung（AORI） | Development of size-resolving aerosol microphysics scheme for use in NICAM-SPRINTARS |
| D460 | 五藤 大輔（環境研） | 全球高解像度エアロゾルシミュレーションを対象としたモデル解像度の影響評価 |
| D461 | 山下 陽介（JAMSTEC） | 化学輸送モデルと地上・船舶観測を用いた黒色炭素（BC）エアロゾル濃度の季節変化、及び北極域への輸送の解析 |
| D462 | 眞木 貴史（気象研） | 逆推計を用いた東アジアにおける BC 排出量推定 |
| D463 | 石戸谷 重之（産総研） | 気象庁観測プラットフォームを用いた大気中酸素濃度の長期・広域観測 |